

令和 8 年度第 1 回 みんなで創るひえづ未来会議 議事録

日 時: 令和 8 年 8 月 24 日 (月) 10 時 00 分 ~ 12 時 10 分

場 所: 日吉津村役場 第 1、2 会議室

出席者: 石谷委員、石飛委員、上場委員、藏光委員、小林委員、西郷委員、長谷委員、船橋委員、
渡辺委員、安達委員、落部委員、清水委員、水津委員、宮城委員
(役場) 中田村長、小原副村長、奥田教育長、橋田課長、梅林室長、高野室長

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 村長あいさつ
- 4 委員紹介

5 会長及び副会長の選出

条例第 5 条に基づき委員の互選により、会長は船橋委員、副会長は清水委員に決定。

6 第 7 次日吉津村総合計画、後期計画及び令和 8 年度実施計画について

○事務局説明の前に先立って、総合計画や審議会の位置づけやプロセスについて日吉津村自治基本条例に定められていることを踏まえての委員からの質問があり、事務局から回答。

<質問>

- 1 審議会は公開することになっているが、この審議会があることを広報したか、広く村民に伝える意思があったかどうか。
- 2 今日の議事録は村民に公開するつもりがあるかどうか。
- 3 従来の審議会条例では委員定数 12 名中議員が 3 名だったが、この審議会の委員に議員は 0 名と、議会の関係性が問題。議員は傍聴すべき。傍聴がないなら、事務局は議会に報告すべきだが、どのようにその関係性を村長は捉えられるか。今日の会議の結果はどのように議会に報告されるのか。

<回答>

- 1 審議会開催の広報について、今回は十分な時間を持って準備が進められなかった点もあり、十分な広報ができていなかった。今後は事前の周知を徹底する。
- 2 議事録は、整理して広報する。ホームページや広報誌等を活用した周知を検討する。
- 3 議会の規定に基づき、議員は審議会の構成員としては入らないことになっている。総合戦略の評価検証は議会に報告することになっており、今回の 9 月議会で報告を行う予定。議員に傍聴に来ていただくことも可能。

○第 7 次日吉津村総合計画、後期計画及び令和 8 年度実施計画について資料により事務局から説明。また、会議の開催スケジュールとして毎年 8 月頃と 4 月頃を想定していることも併せて説明。

<資料>

- ・みんなで創るひえづ未来会議条例
- ・冊子「第 7 次日吉津村総合計画」 11 ページ、18 ページ
- ・政策体系図
- ・ホチキス留め冊子「第 7 次日吉津村総合計画 後期計画」 27 ページ、3 ページ等
- ・資料 1 令和 8 年度実施計画

○各委員の自己紹介・意見等（自己紹介部分は省略）

委員）資料Ⅰの17ページの地域学校協働活動に関して、チューリップの球根の植え付け体験と併せて日吉津村の花がチューリップであることについて学習するなどしてはどうか。

委員）日吉津村は非常に恵まれた土地だと思う。昨今の物価上昇の中、事業実施に当たって予算額が不足しないかチェックしていく必要があるのではないかな。

委員）日吉津村は、他の市町村の人口が大幅に減っている中で人口を維持し、2060年までも人口を維持していこうという意欲があるところに特徴があると思う。子育てに関する取り組みは非常に大事。1回外に出た人も帰ってこようという気持ちが生まれるのは子どものときの環境によると思うので、この辺もさらに伸ばしていっていただければと思う。

委員）日吉津村の総合計画が円滑に進められ、日吉津村にお住まいの皆様、そして未来を担う子どもたちが生き生きと夢のある、日吉津村を目指せるような、そういう活動と思う。

委員）安心安全なまち作りということで防災の観点からご協力できたらと考える。

委員）中田村長は100年先も輝ける日吉津村ということで立候補しておられた。若い人、学生を集めて100年先の夢を語ってもらい、我々がそれを組み立て、応援していくような役割だと思っている。

委員）小さい村なのでできることは限られるが、できることはどんどん進めていけばいいし、例えば西伯郡で協力してやるとか、米子市にお金を払って事業をすることも考えられる。多数の方、声の大きな人だけがよかったと思えるような村ではなくて、少数な方も含めて不満を持たないような村になるように、計画の中でいろいろな施策を作っていくべきだと思う。

委員）GUTS 日吉津子育て事業で計画されている定期コースが今年はないのではないかな。複合型の施設にある資料館だが少し整理したらどうか。ミライトの職員連携について、複合型施設全体でコーディネートができればいいのではないかな。地方創生 2.0 新たな産業づくり事業でイチジク栽培のハウスができる、加工場もできる、マルシェもできた、特産品の料理もできたが、地域の人に見えるのか。お金の使い方も非常に予算が膨らんでいる。村の人の声も聞きながら進めてもらいたい。

委員）米子市にない子育て政策を日吉津村の魅力だと考えている。やってほしい事業が二つある。一つは一般の面白い大人の人の失敗だったり経験だったり子どもたちに話す「大人学」。もう一つは地域愛着ということで、鮭をふ化して日野川に戻すこと。人口維持は万策に繋がってくると思うので一緒に考えていきたい。

委員）大事だなと思っているのは戦略の骨格にある2060年3600人の人口維持。人口維持ということ子育てに目が行きがちだが、やらなければならないのは介護予防とか、どううまく死ぬかということ。事業がビジョンに対して有効なのかということを検証したい。また、小さなむらだからこそ村づくりの中でいかに地域の課題を吸い上げるかが大事だと思う。

委員）消防団の経験等から安心安全で暮らせる部分ということで力になれば、また、デジタル面でのサポートもできたら。人間の感情という部分も大事にしていきたいと思う。今日を築き上げてきた皆様の経験値を大事にしていきたい。

委員）第7次の総合計画は、作成の手法についても、中身についても、残念ながら反対。賛成しかねる。作り直すことを提案する。どうすればいいかというのは書き物を用意したので、ご覧いただき、皆さん方にご判断いただきたい。

委員）12 頁のファミリーサポートセンターについて、現状を尋ねたらファミサポよりも他の制度を利用する方が多いとのこと、こんなに予算がいるのかなと思った。また、「ポテトキッズ」の活動の中で、地域のお年寄りも居場所が欲しいということを感じ、「ポテト食堂」を、住民の力でやっていこうという気持ちでやっている。自治基本条例（の会議?）も利用して、もっと参画できるようなことをしてい

けたらと思う。

委員) この総合計画は前と比べてわかりやすくよかったと思った。予算面もきちっと上がっておりいいことだと思う。日吉津村は小さいから割と要求が通る。要求することは確かに大事だと思い、それは村も聞いて欲しいが、私達自身も考えなければいけないなということは、例えばゴミの問題など、たくさんあると思う。

○挙手制で追加意見

委員) 役場の方は日吉津のことをわかっておらず、住民が言っていることが理解できていない。その反省と学びから全部を作り直すこと。小さい村だから住民の要望が通るということが一番だが、アンケート調査をした結果が本文に反映されていない。農家から村長に要望したことが全く無視をされ、回答いただいていない。日吉津でよかったなということになるように願っている。ぜひ、今日の意見を全部取り入れていただきたい。

委員) (オーストラリアへの) 海外派遣に行く子の選考をどのようにされているのかお聞きしたい。

教育長) 現状は、一律に案内をして広く公募を行い、その中から選考という形にしている。どのような事業が必要なのか、こういった選考がいいのかも含めて、引き続き検討しているところ。

○事務局から、この項目は決をとるものでないこと、現在の実施計画について説明をし、いただいた意見を予算や来年度の実施計画へに反映させていくこと、また、意見を議事録にまとめ、回答が必要なものについては精査のうえ回答することを説明。

7 第2期日吉津村地方創生総合戦略の評価検証について

○第2期日吉津村地方創生総合戦略の評価検証について資料により事務局から説明、意見交換、採決。

<資料>

・資料2 評価検証報告書

委員) 総合計画と地方創生総合戦略は違うもの。総合計画は、日吉津の立地条件、時代背景、住民の気持ち・努力もあり、住民が主体で、住民が困っていることを吸い上げて、安心安全ということがキーワード。地方創生法の根拠は、まち・ひと・しごと創生法で、総合戦略というのは強いて言えば役場の勝手。この二つをどんぶりて議論するような場を作っても意味がない。もっとこれは事務方が真剣に考えるべき。

委員) 評価検証結果を見ると、日吉津村が何をを目指しているかの戦略設計が不十分なところが目につく。例えば、3ページの「シティプロモーションの推進」のKPIの指標がSNS投稿数になっているが、質の悪いものでも投稿数さえあげれば達成というのは評価として違うと思う。投稿数ではなく、リーチ数。何人に見られたかとかそういった数字が妥当と思う。また、人口維持が大変難しい課題であり、Uターン組(元々の日吉津村民がまた戻ってくる)ということを戦略に入れて考えていくべき。16ページの「魅力あふれるむらづくり」の村づくりアンケートの内容でKGIを設定されているが、Uターン組が何人いるのか、何が愛着醸成になっていたのか、何が効いて人口維持に繋がっているのかも把握することで事業実施や戦略に活かせると感じた。そう感じている中で報告書を出されても数字上は良く見えるようなことも実際は伴っていないんじゃないかと思った。

委員) その通りだと思う。お金でつって帰すものでも、命令して帰ってくるものでもない。僕らが中学生や小学生にどんな話を普段しているとか、家族や近所の役割が絶対ある。そこが見えてない。

委員) いろんな事業でKPIとかの設定があるが、かなり机上の空論っぽいような数字・政策だなとい

うふうに感じた。例えばゴミの排出量は、個人が分別が難しくてゴミ屋敷になっていることで排出量が減っているってようなこともありうる。また、農業の活性化の部分で農道整備について、土が堆積して農道の幅員自体が狭くなっていると意見をさせてもらったことがあり、農地に隣接した方が道路の草刈りをするようになっていきますとの回答だったが、結局、耕作放棄地のところは道路も草ボーボーになってしまっている。その政策を決めていただけないかという提案をさせてもらった。小さいところだが、住民の意見でそういったことを考えていただきたい。

委員) 同感。SNS 投稿数が実績になっているのと同様に、何々しました、これをやりました、というのが成果になっているが、それをやったことによる成果が知りたい。他自治体の総合計画を調べたら、その町長さんのやりたいこと、目指していることがすごくわかる。結果成果が出てるんだっていうのが見えてわかる資料だなと思った。強みと思っていることがほんとにこの成果につながっているのか、どうなのかと思った。

委員) これから高齢者の増えていく村になると思うので、高齢者が安心安全で健康に過ごせるような何かがあったらいいなと考える。

会長) 四つの基本目標に KGI をつけて、今回四つの柱のうちの三つが 100%達成していない。検証して 90%とか達成してないときに、この結果を持って次の計画や目標・数値をこの後変えていく作業があるのか、今回評価した数字はどうやって使われるのか、教えてもらいたい。

事務局) これは第2期の日吉津村地方創生総合戦略(令和8年3月までで終了しているもの)であり、第2期で設定された KGI、KPI なので、目標や数値を変えるといったものではない。新たに策定したものとしては、第7次日吉津村総合計画後期計画になる。第3期日吉津村地方創生総合戦略と一体化したことにより、それぞれの施策に KPI を設定している。今後評価していく中で、目標・数値について、もっとこういった目標がいいのではないかと、数値の見直しが必要ではないかといった場合には変更していくことが必要になろうかと思う。先ほど、委員からもこの計画自体を見直したらどうかというご意見も頂戴しているので、事務局内での協議や、またこの会でも審議いただいて進めていければと考えている。今回は、実績がこうでした、達成状況がこうでした、という報告までのもの。

頂戴したご意見を追記し、議会に提出させていただくことについて、承認いただける方は挙手の方をお願いします。→挙手多数で決定。

事務局) この評価検証は年1回行う。それ以外にも会長と相談しながら、またお集まりいただきたい内容があれば、皆様に通知の方をお送りし、資料も事前にお届けして、目を通された時点でご意見を頂戴できればと考えている。引き続き日吉津村の未来のために皆さんが1人1人参画協働いただき、役場と一緒に進めていければと考えているので、よろしくお願いします。

委員) 最後に一言。たくさんの納得はいかないところもやもやと残っている。それは結局手続きが自治基本条例というものに即してないということに尽きる。何で変なのかなということをもとめてみたので、委員の皆さんに送らせていただく。委員の皆さんは自治基本条例に関心を持ってもらうと嬉しい。本当に日吉津がいいねというものになっていくことを切望している。

8 村長あいさつ・閉会